

法政大学社会学部

「社会学コロキウム」第27回

シンポジウム

記憶と記録

——東日本大震災・福島原子力発電所事故
の経験を引き継ぐために

基調報告＝ 壽福 眞美 (法政大学名誉教授)

報告 [1]＝深谷 直弘 (福島大学つくしまふくしま未来支援センター)

報告 [2]＝松下 峻也 (法政大学大学院社会学研究科博士後期課程)

討論者＝山本 昭宏 (神戸市外国語大学) + 小林 直毅 (法政大学社会学部)

司会＝堀川 三郎 (法政大学社会学部)

2019年7月6日 [土] 15:00～19:00

法政大学市ヶ谷キャンパス・外濠校舎 S205 教室

【趣旨】 2011年3月に東日本を襲った地震と津波、そして福島原子力発電所の事故から8年以上の歳月が過ぎようとしている。人々はもちろんその出来事を忘れてしまったわけではない。しかし、その経験を引き継ぎ、確かな議論につなげていくための枠組みは共有されていない。記憶の風化、という言葉は当たらないはずだが、何も見なかったかのように、再び元の道を歩もうとする動きが前面を覆っているようにも見える。だが、「3.11」の経験は、私たちの生き方を問い直し、この社会のあり方を見直すように強く訴えかけていたはずである。震災と原発事故をいかに記録し、その記憶をどのような形で継承し、いかなる社会の構想につなげていくべきか。方法や視角を異にする複数の研究者の問題提起と討議を通じて、あらためて考えていきたい。

* シンポジウム終了後、懇親会を予定していますので、当日会場でご案内します。

主催＝法政大学社会学部学会・大学院社会学研究科教授会

参加＝無料 (他学部・他研究科の方もぜひどうぞ)

※「社会学コロキウム」とは、法政大学社会学部という名の「知的コミュニティ」で開催される、開かれた学びの場。最新の研究成果をもとに共に学びあい、対話する研究会です。すべての法政大学生に開かれています。

問い合わせ先＝法政大学社会学部事務課

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 法政大学社会学部事務課気付

TEL: 042-783-2351～2354

1952 2022

70TH

社会学部
開設70周年